

皆さん、新年あけましておめでとうございます。令和6年（2024年）が始まりました。

新年早々に能登半島地震があり、翌日には大きな航空機事故もありました。犠牲になられた方々には心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。あまりの被害の大きさに心が痛みますが、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

テレビ等で流れる被災地の状況は筆舌に尽くしがたく、被災された方々の心中を察すると、胸が苦しくなります。人間は自然に抗うことができないことをまざまざと見せつけられますが、それでも自分に何かできることはないだろうかと思えます。被災地支援は現地に赴いてボランティア活動をするだけでなく、募金をしたり、被災後落ち着いてから訪問や観光をしたり、特産品などを購入することも復興支援となります。いずれにしても、日常の生活を取り戻し、辛く困っている人を少しでも元気にするには何をすべきか、しっかり考えたいものです。ボランティアは他者と比べたり、優劣をつけるものではありません。自分らしい形で、何か行動したいものです。

年末になりますが、私はガザ地区で支援活動をしているNGOの方々の話をオンラインで聴く機会が何度かありました。オンラインでしたので高校生や大学生も多く聴講していたのですが、その中である高校生が「私はまだ高校生で、現地に行って支援することができません。先生方はまず『知る』ことが大事だといいますが、もっと自分にできることはないでしょうか」という質問をしていました。それに対してNGOの方は「現状を知った上で、今勉強していることをしっかり学ぶことが大事なのではないか」と回答していました。歴史や背景を学び、それを知った上で支援する、英語を学んで将来その英語を使って支援する、工業を学んで将来インフラ整備をして支援ができるなど、自分の今の学びを大切に、一生懸命勉強することが将来につながると言っていました。それを聞きながら、よくアンテナを高くするといいますが、そのアンテナは一本ではなく、何本も立っていることが大切だなと感じました。皆さんの頭には何本のアンテナがどれくらいの高さで立っていますか？そのアンテナでキャッチして知ったことが、「自分の学び」とビビビッと繋がって、考えることを経て行動に移せたら素晴らしいなと思えます。

さて、皆さんは生徒昇降口の3年書道選択者が製作した「中野西かるた」はもう見ましたか？お正月かるたとはちょっと趣きが違いますが、3年生らしい高校生活の思い出や、ユネスコスクールに因んだ作品でとても楽しく拝見しました。その中の「め」の

私が「名物やっぱりオリジナルコーヒー」とありました。皆さんは中西珈琲を飲んだことがありますか？

中西珈琲は児童労働や公正な取引について勉強してきた生徒たちが中心となって、丸山珈琲さんと共同開発したフェアトレードのコーヒーです。フェアトレード学習は当初チョコレートに関するものだけでしたが、それがコーヒーへと発展しました。ケニア産の豆を主原料とした「木漏れ日ブレンド」と「ベストフレンド・ベストブレンド」を経て、現在はブラジル産豆を主とした「ゆきどけブレンド」となっています。

中西珈琲は単に売るだけでなく、フェアトレードの啓発活動や、現在世界で起きている諸問題を一緒に考える媒体となっています。農家の貧困や搾取といった実態や、気候変動が産地に与える影響について学んだり、パッケージやストローの脱プラを図ったりと色々な方向に学びが広がっています。そもそも日本で何故こんなにコーヒーが飲まれるようになったか調べていくと、移民問題やリンカーンの奴隷解放宣言まで遡る歴史学習にもなりますし、産地では質の良いコーヒー豆を輸出した結果、欠点豆が多く残ってしまい、それが深煎りコーヒーとして飲まれている実態など、コーヒーひとつとっても多くの学びがあり、奥が深いと感じます。

コーヒーなどの日常のモノ、そして現在被災して困っている人をはじめ目の前にいる人。人生で私たちが目にして触れる、そのモノや相手に対して、今見えている姿だけでなく、見えない「向こう側への想像力」を持つこと。どのような背景をもっているのか、どのような実態があるのか、どのような気持ちを持っているのか慮ること。それが自分や社会がよりよくなるための大事な視点だと思います。そうやって「知る」・「考える」、その上で「行動できる」、そんな逞しさを今年、中西生に期待したいと思います。

さて、これから受験のある3年生はとても大切な時期です。体調管理を万全にして、これからの受験に臨んでください。自分で人生を切り開く、そんな気概を持って頑張ってください。進路が決まっている3年生も仲間を是非応援してください。そして苦楽をともにした仲間とともに卒業までわずかな時間を大切にしてください。

1, 2年生は令和6年も充実した高校生活になるよう、勉強も部活も生徒会も、ボランティアやいろいろな活動に対して、たくさんのアンテナをたくさん立てて、高く立てて頑張りましょう。

体と心の健康、何よりも命を大事にして、みんなが笑顔で過ごせる学校を創っていきましょう。今年一年「辰年」のとおり、龍のように強大なパワーで自分の目指すところに向かって昇ることができる一年になることを願っています。